

2014年3月期 第3四半期

(2013年4月1日～2013年12月31日)

決算補足資料

2014年2月5日
株式会社電通国際情報サービス

(1) 2014年3月期 第3四半期 連結業績

(単位:百万円)

	2014年3月期 第3四半期累計 (4-12月)	前年同期との比較		
		前年同期	増減額	増減率
売上高	50,611	49,360	+1,251	+2.5%
売上総利益	15,118	15,213	▲95	▲0.6%
売上総利益率	29.9%	30.8%	▲0.9pts	—
販管費及び一般管理費	13,899	13,674	+225	+1.6%
営業利益	1,219	1,539	▲320	▲20.8%
営業利益率	2.4%	3.1%	▲0.7pts	—
経常利益	1,583	1,692	▲109	▲6.4%
四半期純利益	969	996	▲27	▲2.7%

【売上】 金融ソリューションとコミュニケーションITが増収を牽引
【利益】 円安の影響等で売上総利益率が低下し、売上総利益は前年同期並み
販管費が増加したため、営業利益/経常利益/四半期純利益は減益

(2) 営業利益・経常利益【前期比】

(単位:億円)



- 3 -

(3) 事業セグメント別 連結売上高

(単位:百万円)

事業セグメント	2014年3月期 第3四半期累計 (4-12月)	前年同期との比較		
		前年同期	増減額	増減率
金融ソリューション	15,786	14,299	+1,487	+10.4%
エンタープライズソリューション	21,909	22,920	▲1,011	▲4.4%
ビジネス系	8,567	9,222	▲655	▲7.1%
エンジニアリング系	13,341	13,697	▲356	▲2.6%
コミュニケーションIT	12,916	12,140	+776	+6.4%
合計	50,611	49,360	+1,251	+2.5%

金融 メガバンク/地域金融機関/ネット系金融機関/リース会社向けが拡大
エンタープライズ ビジネス系:基幹システム構築サービスが伸び悩み
 エンジニアリング系:自動車向け堅調も、家電向けに反動減
コミュニケーションIT 電通向けの基幹システム構築、ならびに電通との協業ビジネスが拡大

- 4 -

(4) サービス品目別 連結売上高

(単位:百万円)

サービス品目	2014年3月期 第3四半期累計 (4-12月)	前年同期比		
		前年同期	増減額	増減率
コンサルティングサービス	1,798	1,899	▲101	▲5.3%
受託システム開発	17,155	16,880	+275	+1.6%
ソフトウェア製品	7,137	5,753	+1,384	+24.1%
ソフトウェア商品	15,419	15,655	▲236	▲1.5%
アウトソーシング・運用保守サービス	4,703	4,490	+213	+4.7%
情報機器販売・その他	4,398	4,682	▲284	▲6.1%
合計	50,611	49,360	+1,251	+2.5%

(5) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2014年3月期 第3四半期 (2013/12/31)	2013年3月期 会計年度 (2013/3/31)	増減	主な増減要因(対前連結会計年度末)
流動資産	36,058	38,145	▲2,087	売上債権の減少(▲4,770) たな卸資産の増加(+1,743) 現金及び現金同等物の増加(+888)
固定資産	19,199	20,653	▲1,454	投資有価証券の減少(▲1,443)
資産合計	55,257	58,798	▲3,541	
流動負債	14,711	17,214	▲2,503	仕入債務の減少(▲2,473)
固定負債	2,940	3,679	▲739	繰延税金負債の減少(▲558)
負債合計	17,652	20,894	▲3,242	
純資産合計	37,605	37,903	▲298	四半期純利益の計上(+969) 剰余金の配当(▲651) その他の包括利益累計額の減少(▲612)
負債純資産合計	55,257	58,798	▲3,541	

(6) 受注・受注残

(単位:百万円)

		受注高		受注残高	
		2014年3月期 第3四半期累計 (4-12月)	前年同期比	2014年3月期 第3四半期末 (2013/12/31)	前年同期比
総合計		29,001	▲3.4%	10,604	▲3.3%
事業 セグメント別	金融ソリューション	13,807	+16.9%	4,873	+34.7%
	エンタープライズソリューション	7,289	+1.9%	2,862	+31.9%
	コミュニケーションIT	7,904	▲28.4%	2,868	▲44.6%
サービス 品目別	受託システム開発	19,009	▲12.3%	6,856	▲17.0%
	ソフトウェア製品アドオン開発	4,695	+51.7%	2,348	+65.2%
	ソフトウェア商品アドオン開発	5,296	+1.2%	1,399	+9.6%

受注・受注残は、当社のサービス品目のうち、受託システム開発と、ソフトウェア製品・ソフトウェア商品のアドオン開発のみが対象です。
コンサルティングサービス、ソフトウェア製品・商品のライセンス、ライセンス保守、アウトソーシング・運用保守サービス、情報機器等は含まれておりません。

(7) 2014年3月期 連結業績予想

2014/2/5付けで、通期業績予想を下記の通り修正

(単位:百万円)

	2014年 3月期 修正予想	前回予想(2013/5/10付)との比較			前期実績との比較		
		前回予想	増減額	増減率	前期実績	増減額	増減率
売上高	74,000	75,500	▲1,500	▲2.0%	72,764	+1,236	+1.7%
営業利益	3,800	4,460	▲660	▲14.8%	4,192	▲392	▲9.4%
営業利益率	5.1%	5.9%	▲0.8p	—	5.8%	▲0.7p	—
経常利益	4,200	4,700	▲500	▲10.6%	4,311	▲111	▲2.6%
当期純利益	2,600	2,870	▲270	▲9.4%	2,622	▲22	▲0.8%

【売上高】 金融ソリューションおよびコミュニケーションITは前回予想を上回る水準で進捗。
しかしながら、エンタープライズソリューションが前回予想に比して厳しく推移。

【利益】 売上高の未達に加え、円安による原価増(前回予想比約3億円)等が影響。

プレスリリース＜2013年10月～2014年1月＞

金融ソリューションセグメント

- 11/21 JF(漁業協同組合)グループの自己査定支援システムをクラウドで刷新
- 12/4 ウェブ接客サービス「ライブエンゲージ」の金融機関向け提供を開始
- 12/11 「金融イノベーションビジネスカンファレンスFIBC2014」の開催を決定
- 12/13 横浜信用金庫の融資業務システムを刷新

エンタープライズソリューションセグメント

- 10/2 グループ経営管理クラウドサービス「Hyperion on CLOUDiS」をアマゾン ウェブ サービス上で提供
- 10/8 クラウドの全面活用を支援する「フルクラウド統合サービス」を開始
- 12/10 西鉄グループの次期BIシステムを受注
- 12/25 NECと統合人事パッケージ「POSITIVE」の販売で提携
- 1/31 ビッグデータ解析による知的保全ソリューションで米ベンチャーと資本提携

コミュニケーションITセグメント

- 11/13 スマートフォン向けエリア限定型配信プラットフォーム「potaVee」を販売開始
- 11/19 街と人をつなぐO2Oプラットフォーム・パッケージ「+fooop! connect」を提供開始
- 12/19 iSiDのO2Oプラットフォーム「+fooop! connect」を東芝が採用

クラウド・オープンイノベーション研究所・他

- 10/1 スマイル募金が「2013年度 グッドデザイン賞」を受賞
- 11/8 フランス・バルトワーズ県と共同でライフログ解析の実証実験を開始
- 1/31 米バルボアパーク内の日本庭園を巡る公式ガイドアプリに高精度測位インフラ「Place Sticker」を提供